

# 海外現地法人の動向（要旨）

海外現地法人四半期調査（平成 19 年 10-12 月期）

平成 20 年 3 月 21 日  
調査統計部企業統計室

～ H19/10-12 の実績、H20/1-3 の現状判断 DI、H20/4-6 の先行き DI ～  
＜今回調査のポイント＞

## 売 上 高

**○先行きDI(H20 年 4-6 月期)は、プラス幅を拡大し、すべての地域で2桁台**

現状判断DI(H20 年 1-3 月期)は、プラス幅を縮小。先行きDIは、アジア地域及び北米のプラス幅拡大などによりプラス幅を拡大し、すべての地域で2桁台。

**○実績(H19 年 10-12 月期)は、前年同期比 15.1%増と、3期連続2桁台の増加**

業種別では、輸送機械及び化学は、2桁台の増加を維持し、電気機械及び一般機械は、伸び率を2桁台に拡大した。鉄鋼は、2期連続減少。

地域別では、欧州は、輸送機械、一般機械及び化学が2桁台の増加を維持し、5期連続2桁台の増加。アジア地域は、中国、ASEAN4、NIEs3 とともに広範な業種で伸び率を拡大し、4期連続2桁台の増加。北米は、伸び率をやや拡大したが、10期連続1桁台の増加。

## 設 備 投 資

**○先行きDI(H20 年 4-6 月期)は、プラス幅を拡大し、すべての地域でプラスを維持**

現状判断DI(20 年 1-3 月期)は、プラス幅を縮小。先行きDIは、アジア地域、北米、欧州ともプラス幅を拡大し、すべての地域でプラスを維持。

**○実績(H19 年 10-12 月期)は、前年同期比▲1.4%減と、3期連続減少**

業種別では、化学は、3期連続大幅に減少。輸送機械は、欧州及びアジア地域の減少などから4期連続減少し、電気機械は、減少に転じた。一般機械及び鉄鋼は、2桁台の増加を維持。

地域別では、アジア地域は、NIEs3 及び中国が引き続き減少し、3期連続減少。欧州は、化学及び輸送機械の減少などから、3期連続減少。北米は、輸送機械及び電気機械の増加などから、4期連続増加。

## 従 業 者 数

**○先行きDI(H20 年 6 月末)は、プラス幅を拡大し、すべての地域でプラスを維持**

現状判断DI(20 年 3 月末)は、プラス幅を拡大。先行きDIは、輸送機械を除く主要業種がプラス幅を拡大し、プラス幅拡大。すべての地域でプラスを維持し、アジア地域は2桁台を維持。

**○実績(H19 年 12 月末)は、前年同期比 4.8%増と、引き続き増加**

業種別では輸送機械を中心として、地域別では中国を中心として、引き続き増加。

調査時点：平成 20 年 2 月中旬

## 1. 売上高

**先行きDI(\*1)は、22.2%ポイントとプラス幅を拡大し、すべての地域で2桁台。実績は、前年同期比 15.1%増と3期連続2桁台の増加。**

- **現状判断D I (H20年1-3月)**は、9.2%ポイントと、前期現状判断D I (H19年10-12月)に比べ▲7.6%ポイントプラス幅を縮小。欧州は、化学がプラスに転じたことなどから、プラス幅をやや拡大。アジア地域は、NIEs3(\*2)及び中国(\*3)がすべての主要業種のプラス幅縮小から大幅にプラス幅を縮小したことなどから、プラス幅縮小。北米は、電気機械及び輸送機械のプラス幅縮小などから、プラス幅縮小。すべての地域でプラスを維持。

**先行きD I (H20年4-6月)**は、22.2%ポイントと、今期現状判断D I に比べ13.0%ポイントプラス幅を拡大し、2桁台のプラス。アジア地域は、中国、ASEAN4(\*4)、NIEs3とも電気機械を中心に輸送機械を除く主要業種でプラス幅を拡大したことなどから、大幅なプラス幅拡大。北米は、輸送機械を除く主要業種でプラス幅を拡大し、プラス幅拡大。欧州は、電気機械がマイナスに転じ、輸送機械及び一般機械がプラス幅を縮小したことなどから、プラス幅縮小。すべての地域で2桁台のプラス。

- **実績(H19年10-12月)**は、前年同期比 15.1%増と、3期連続2桁台の増加。

**業種別**では、電気機械の回復が目立つ。輸送機械は、アジア地域及び欧州で大幅な増加を維持し、北米は小幅ながら増加を維持したことなどから、5期連続2桁台の増加。化学は、すべての地域で増加を維持し、4期連続2桁台の増加。電気機械は、中国を中心にすべての地域で伸び率を拡大し、13期ぶりに2桁台の増加。一般機械は、伸び率を2桁台に拡大。鉄鋼は、2期連続減少。

**地域別**では、すべての地域で伸び率を拡大。**欧州**(前年同期比 23.7%増)は、5期連続2桁台の増加。輸送機械、一般機械及び化学は2桁台の増加を維持し、電気機械は5期ぶりに2桁台の増加。**アジア地域**(同 19.0%増)は、中国、ASEAN4、NIEs3とも伸び率を拡大し、4期連続2桁台の増加。**中国**(同 22.9%増)は、大幅な増加を維持。輸送機械及び化学は引き続き大幅に増加し、電気機械は2期連続2桁台の増加。**ASEAN4**(同 17.1%増)は、4期連続2桁台の増加。輸送機械、一般機械及び鉄鋼は2桁台の増加を維持し、電気機械は伸び率を拡大。**NIEs3**(同 10.9%増)は、輸送機械は減少に転じたが、化学の大幅な増加及び電気機械の3期ぶりの増加などから、11期ぶりに2桁台の増加。**北米**(同 4.2%増)は、電気機械は伸び率を拡大したが、輸送機械は引き続き小幅な伸び率にとどまり、10期連続1桁台の増加。

注 \*1：調査時点を含む四半期（現状判断）及びその翌四半期（先行き）に関し、それぞれ前四半期と比較した見通し

・DI＝「増加と回答した企業の割合」－「減少と回答した企業の割合」

\*2～4 ASEAN4：インドネシア、タイ、フィリピン、マレーシア NIEs3：シンガポール、台湾、大韓民国 中国：香港を含む

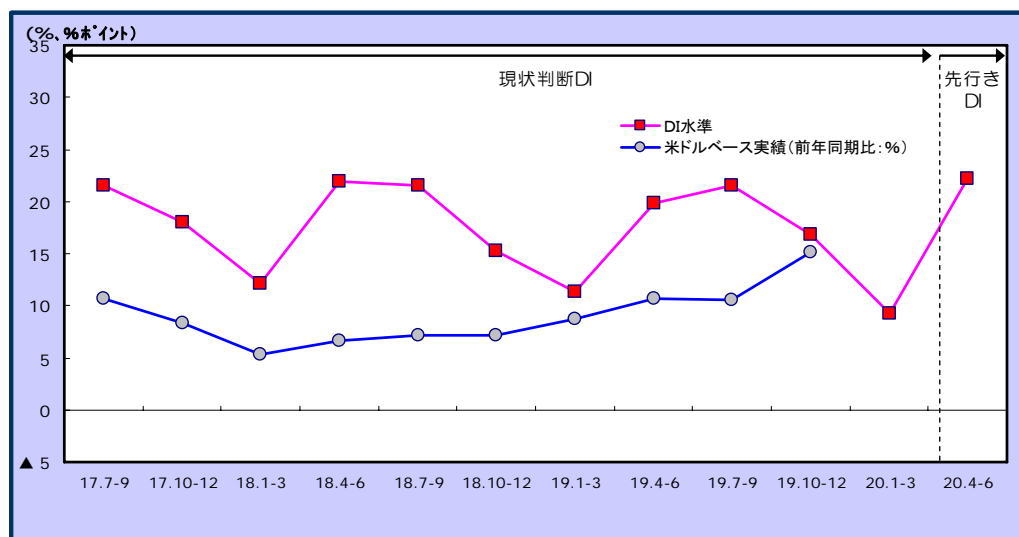
1表 売上高のD I 及び実績（ドルベース）（地域・主要業種別）

	DI					実績	
	前期調査			前期比		前期	今期
	①現状判断 (19.10-12)	②現状判断 (20.1-3)	③先行き (20.4-6)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
計（地域・業種）	16.8 → 9.2 → 22.2	(▲7.6)	13.0	10.6	15.1		
北米	11.0 → 8.6 → 14.9	(▲2.4)	6.3	2.4	4.2		
アジア	18.8 → 8.8 → 25.6	(▲10.0)	16.8	14.2	19.0		
ASEAN4	9.6 → 7.9 → 20.3	(▲1.7)	12.4	11.3	17.1		
NIEs3	16.4 → 0.4 → 17.1	(▲16.0)	16.7	4.6	10.9		
中国（香港含む）	24.3 → 9.0 → 30.5	(▲15.3)	21.5	19.0	22.9		
欧州	15.9 → 17.0 → 10.8	(▲1.1)	▲6.2	18.2	23.7		

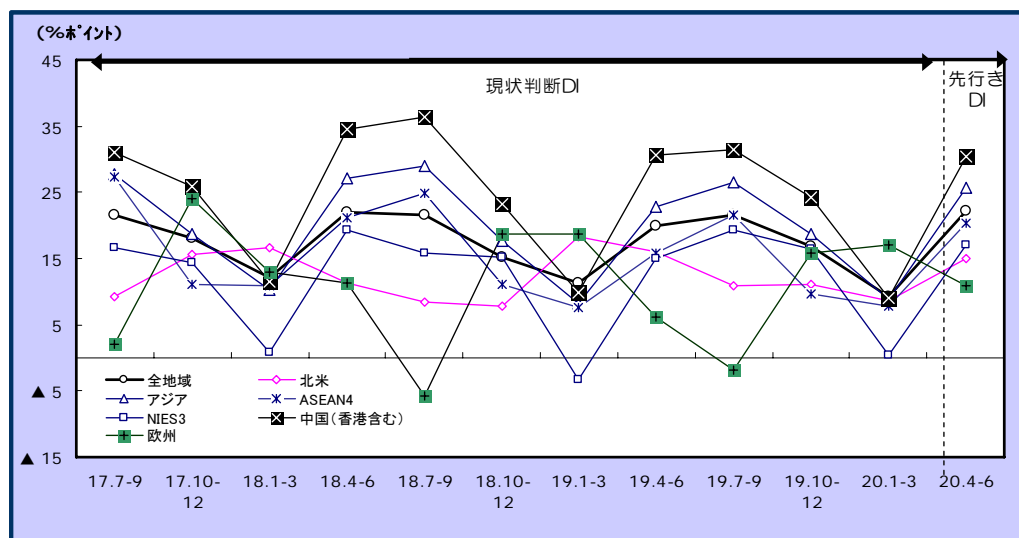
  

	DI					実績	
	前期調査			前期比		前期	今期
	①現状判断 (19.10-12)	②現状判断 (20.1-3)	③先行き (20.4-6)	現状判断 (②-①)	先行き (③-②)		
輸送機械	21.1 → 21.9 → 22.2	(▲0.8)	0.3	13.4	17.1		
電気機械	13.0 → ▲1.6 → 18.6	(▲14.6)	20.2	4.7	10.8		
一般機械	23.8 → 14.7 → 28.2	(▲9.1)	13.5	6.5	10.3		
化学	18.2 → 16.5 → 28.3	(▲1.7)	11.8	10.4	14.1		
鉄鋼	11.0 → 5.4 → 30.0	(▲5.6)	24.6	▲1.5	▲0.8		

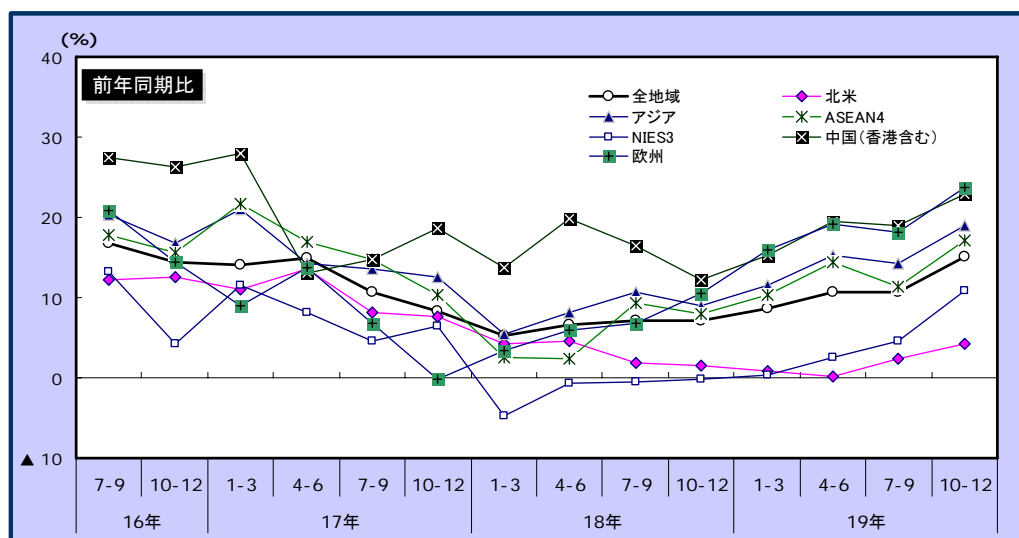
1 図 売上高のDI と実績（ドルベース）の推移



2 図 売上高DIの推移（地域別）



3 図 売上高実績（ドルベース）の推移（地域別）



## 2. 設備投資額(土地を除く有形固定資産取得額)

**先行きDIは、16.9%ポイントとプラス幅を拡大し、すべての地域でプラスを維持。実績は、前年同期比▲1.4%減と3期連続減少。**

- **現状判断D I (H20年1-3月)**は、13.3%ポイントと、前期現状判断D I (19年10-12月)に比べ▲1.8%ポイントプラス幅を縮小したが、2桁台のプラスを維持。アジア地域は、中国及びASEAN4はわずかにプラス幅を拡大したが、NIEs3はプラス幅を縮小し、わずかにプラス幅縮小。北米は、わずかにプラス幅を拡大。欧州は、化学がマイナスに転じ、輸送機械がプラス幅を縮小したことなどから、1桁台にプラス幅を縮小。すべての地域でプラスを維持。

**先行きD I (H20年4-6月)**は、16.9%ポイントと、今期現状判断D Iに比べ3.6%ポイントプラス幅を拡大。アジア地域は、NIEs3が一般機械、輸送機械及び電気機械を中心にプラス幅を拡大したことなどから、プラス幅拡大。北米は、一般機械がプラスに転じ、化学がプラス幅を拡大したことなどから、プラス幅拡大。欧州は、化学がプラスに転じ、輸送機械がプラス幅を拡大したことなどから、プラス幅拡大。すべての地域でプラスを維持し、欧州を除く地域では2桁台のプラス。

- **実績(H19年10-12月)**は、前年同期比▲1.4%減と、3期連続減少。

**業種別**では、化学及び輸送機械が引き続き減少。化学は、北米、欧州、アジア地域とも2桁台の減少を続け、3期連続大幅な減少。輸送機械は、北米は1桁台の増加を維持したが、欧州及びアジア地域は引き続き減少し、4期連続減少。電気機械は、アジア地域の減少から、減少に転じた。一般機械は、5期連続2桁台の増加。鉄鋼は、2期連続2桁台の増加。

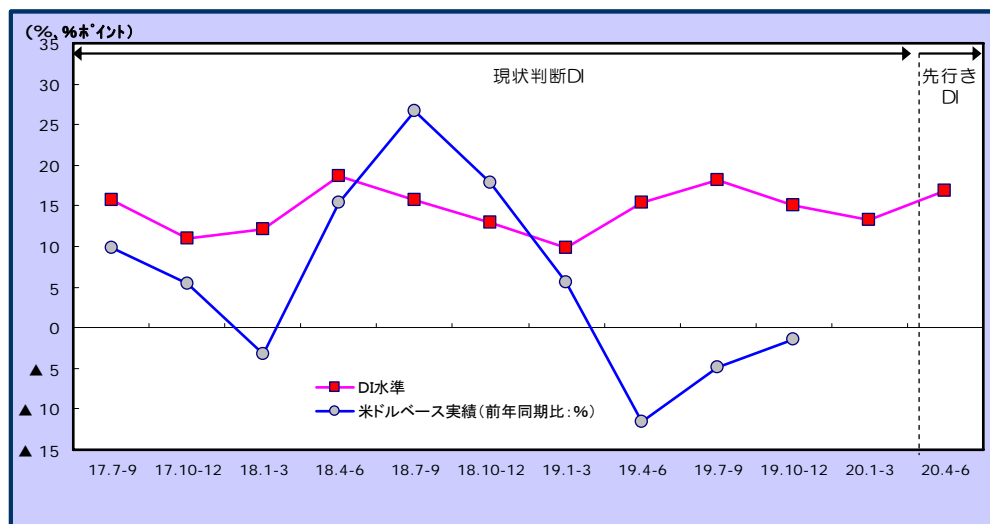
**地域別**では、アジア地域及び欧州は、減少幅は縮小したものの、3期連続減少し、北米は、4期連続増加。**アジア地域**(前年同期比▲4.0%減)は、ASEAN4は増加に転じたが、NIEs3及び中国が引き続き減少し、3期連続減少。**NIEs3**(同▲24.7%減)は、3期連続大幅な減少。輸送機械は6期連続大幅に減少し、化学、電気機械及び一般機械も減少を続けた。**中国**(同▲1.5%減)は、3期連続減少。一般機械は大幅に増加したが、電気機械は大幅な減少に転じ、化学及び輸送機械は3期連続減少。**ASEAN4**(同6.2%増)は、3期ぶりに増加。一般機械及び電気機械は減少に転じたものの、鉄鋼及び化学が大幅に増加し、輸送機械は増加に転じた。**欧州**(同▲3.2%減)は、3期連続減少。電気機械は2期連続大幅に増加したが、化学及び輸送機械は引き続き大幅に減少し、一般機械は大幅な減少に転じた。**北米**(同4.4%増)は、4期連続増加。輸送機械及び電気機械が4期連続増加し、一般機械は大幅な増加に転じた。化学は3期連続大幅な減少。

2表 設備投資額のD I 及び実績(ドルベース)(地域・主要業種別)

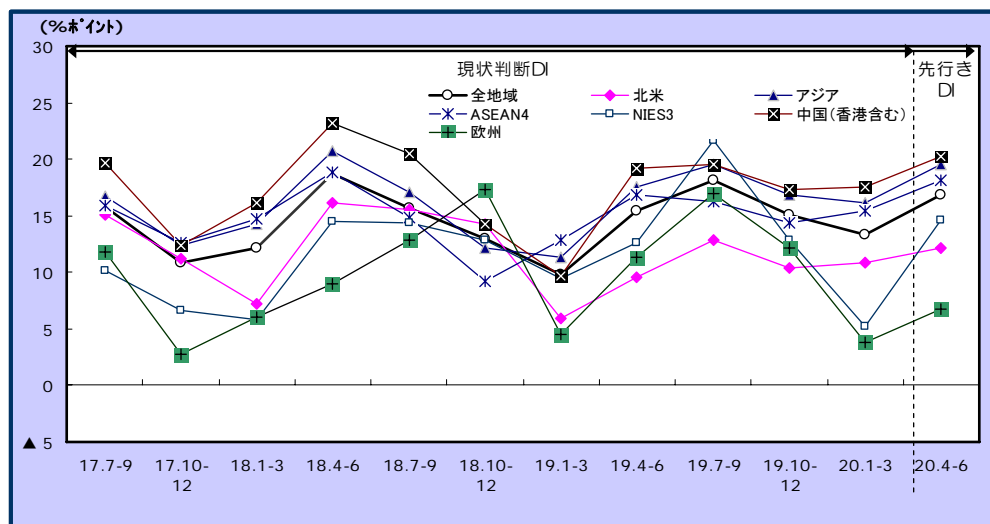
(単位: DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績 (前年同期比)			
	前期調査		今 期 調 査		前期比		実績 (前年同期比)		
	①現状判断 (19.10-12)	②現状判断 (20.1-3)	③先行き (20.4-6)	現状判断 (②・1)	先行き (③・②)	前期 (19.7-9)	今期 (19.10-12)	前期 (19.7-9)	今期 (19.10-12)
計(地域・業種)	15.1	→ 13.3	→ 16.9	( ▲1.8)	3.6	▲4.9	▲1.4		
北米	10.4	→ 10.9	→ 12.1	( 0.5)	1.2	1.8	4.4		
アジア	16.9	→ 16.1	→ 19.5	( ▲0.8)	3.4	▲6.4	▲4.0		
ASEAN4	14.4	→ 15.4	→ 18.1	( 1.0)	2.7	▲1.1	6.2		
NIEs3	12.8	→ 5.2	→ 14.6	( ▲7.6)	9.4	▲27.7	▲24.7		
中国(香港含む)	17.3	→ 17.6	→ 20.3	( 0.3)	2.7	▲0.6	▲1.5		
欧州	12.1	→ 3.8	→ 6.7	( ▲8.3)	2.9	▲12.7	▲3.2		
輸送機械	22.6	→ 18.4	→ 20.4	( ▲4.2)	2.0	▲10.8	▲6.0		
電気機械	12.4	→ 9.5	→ 12.7	( ▲2.9)	3.2	16.6	▲5.0		
一般機械	6.4	→ 14.2	→ 18.6	( 7.8)	4.4	24.1	14.9		
化学	8.9	→ 9.5	→ 18.3	( 0.6)	8.8	▲32.3	▲32.0		
鉄鋼	21.4	→ 21.6	→ 22.8	( 0.2)	1.2	19.9	27.7		

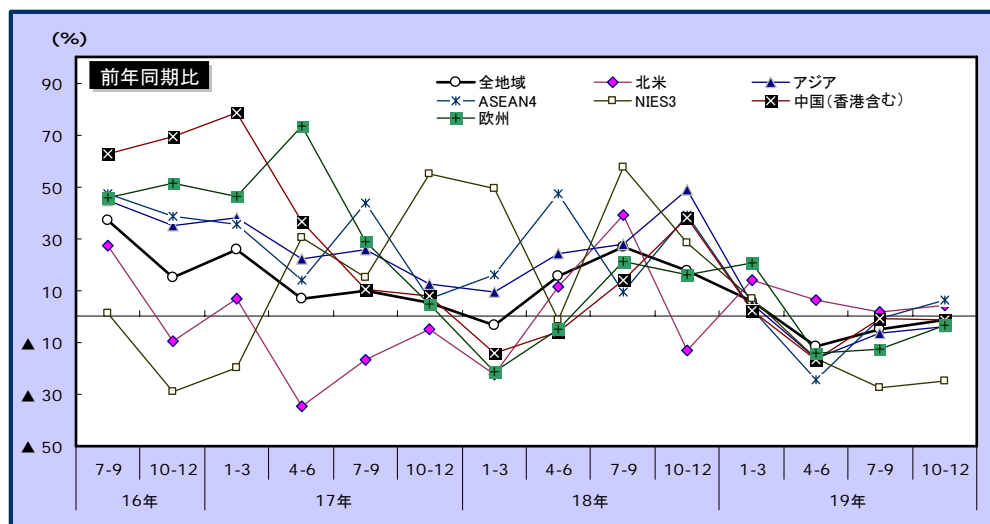
4 図 設備投資のD I と実績（ドルベース）の推移



5 図 設備投資D I の推移（地域別）



6 図 設備投資額実績（ドルベース）の推移（地域別）



### 3. 雇用(従業者数)

**先行きDIは、11.7%ポイントとプラス幅を拡大。実績は、前年同期比 4.8%増と引き続き増加。**

- **現状判断D I** (H20年3月末)は、9.7%ポイントと、前期現状判断D I (19年12月末)に比べ1.4%ポイントプラス幅を拡大。化学、一般機械及び輸送機械がプラス幅を拡大。欧州は、一般機械及び電気機械がプラス幅を拡大したことなどから、プラスに転じた。すべての地域でプラス。

**先行きD I** (H20年6月末)は、11.7%ポイントと、今期現状判断D Iに比べ2.0%ポイントプラス幅を拡大。輸送機械を除く主要業種でプラス幅を拡大。すべての地域でプラスを維持し、アジア地域は2桁台を維持。

- **実績** (H19年12月末)は、前年同期比4.8%増と引き続き増加。

**業種別**では、引き続き輸送機械を中心に増加。輸送機械は、NIEs3を除く地域で増加を続け、4期連続2桁台の増加。電気機械は、北米が伸び率を拡大し、欧州及びアジア地域がわずかながら増加に転じたことから、4期ぶりに増加。

**地域別**では、アジア地域は引き続き中国を中心に増加し、欧州及び北米も増加。**欧州** (前年同期比14.5%増)は、伸び率を拡大し、2桁台の増加。窯業・土石の著しい増加に加え、輸送機械が伸び率を拡大し、一般機械及び電気機械が増加に転じた。**北米** (同4.9%増)は、4期連続増加。輸送機械、化学及び電気機械が引き続き増加。**アジア地域** (同3.7%増)は、引き続き増加。**中国** (同5.1%増)は、6期連続1桁台の増加。輸送機械は引き続き大幅に増加したが、電気機械は3期連続わずかに増加。**ASEAN4** (同0.9%増)は、3期連続わずかに増加。輸送機械及び一般機械は引き続き増加したが、電気機械は5期連続減少。**NIEs3** (同▲1.8%減)は、5期連続減少。輸送機械は7期連続減少し、電気機械は4期連続減少。

3表 従業者数のD I 及び実績 (地域・主要業種別)

(単位：DI及びDI前期比→%ポイント、実績(前年同期比)→%)

	DI					実績 (前年同期比)			DI					実績 (前年同期比)			
	前期調査		今 期 調 査		前期比	前期 (19.7-9)	今期 (19.10-12)		前期調査		今 期 調 査		前期比	前期 (19.7-9)	今期 (19.10-12)		
	①現状判断 (19.10-12)	②現状判断 (20.1-3)	③先行き (20.4-6)	現状判断 (②-①)					先行き (③-②)	①現状判断 (19.10-12)	②現状判断 (20.1-3)	③先行き (20.4-6)				現状判断 (②-①)	先行き (③-②)
計 (地域・業種)	8.3	→	9.7	→	11.7 ( 1.4 )	2.0	3.6	4.8	輸送機械	12.1	→	14.0	→	11.6 ( 1.9 )	▲2.4	10.9	10.1
北米	3.2	→	4.5	→	5.7 ( 1.3 )	1.2	3.4	4.9	電気機械	9.5	→	4.6	→	9.1 ( ▲4.9 )	4.5	▲2.2	0.3
アジア	10.8	→	11.9	→	14.7 ( 1.1 )	2.8	3.1	3.7	一般機械	11.0	→	13.4	→	15.8 ( 2.4 )	2.4	4.2	5.9
ASEAN4	5.9	→	8.0	→	9.4 ( 2.1 )	1.4	0.0	0.9	化学	7.9	→	12.2	→	16.6 ( 4.3 )	4.4	▲1.8	▲1.6
NIEs3	3.0	→	3.1	→	3.9 ( 0.1 )	0.8	▲4.7	▲1.8	鉄鋼	15.3	→	12.5	→	27.0 ( ▲2.8 )	14.5	▲7.2	▲16.3
中国 (香港含む)	15.6	→	15.9	→	19.8 ( 0.3 )	3.9	4.9	5.1									
欧州	▲1.4	→	2.8	→	1.8 ( 4.2 )	▲1.0	9.8	14.5									

#### <参考> 海外経済

世界の景気は、減速の動きに広がりが見られるものの、回復を続けている。アメリカでは、景気回復は弱いものとなっている。先行きについては、サブプライム住宅ローン問題を背景に、一段の下振れリスクがある。アジアでは、中国等で景気は拡大が続いている。中国では、景気は拡大が続いている。固定資産投資は高い伸びが続いている。台湾、シンガポール、マレーシアでは、景気は拡大している。韓国では、景気は緩やかに拡大している。タイでは、景気は持ち直しの動きが見られる。ユーロ圏では、景気回復は緩やかになっている。英国では、景気は回復している。(月例経済報告(平成20年2月)より)